

築地市場跡地に係る埋蔵文化財試掘調査委託（5 築－3）

## 業 務 報 告 書

令和 6 年 3 月

東京都第一市街地整備事務所

株 式 会 社 ノ ガ ミ

## 調 査 概 要

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 件 名   | 築地市場跡地に係る埋蔵文化財試掘調査委託（5 築－3）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 調査地点  | 東京都中央区築地五丁目地内                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 調査面積  | 試掘坑 311.05 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 調査期間  | 事前準備 令和 5 年 12 月 16 日 ～ 1 月 19 日の内、 35 日間<br>現地調査 令和 6 年 1 月 20 日 ～ 2 月 29 日の内、 41 日間<br>整理事業 令和 6 年 3 月 1 日 ～ 3 月 21 日の内、 21 日間                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 調査機関  | 株式会社ノガミ 関東支店<br>現場代理人 : <br>土木技師 : <br>主任調査技師 : <br>副主任調査技師 : <br>庶務 :  |
| 立 会 者 | 中央区教育委員会図書文化財課郷土資料館総括文化財調査指導員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 検出遺構  | 石積 8 基、水路状遺構 1 条、下水溝 1 条、煉瓦組柵（便槽） 1 基、焼土整理跡 1 か所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 出土遺物  | 計 523 点（磁器 203 点（内、ガイシ 11 点）、陶器 53 点、炆器 3 点、瓦 154 点、煉瓦 48 点、ガラス製品 60 点、コンクリート製品 1 点、自然遺物 1 点）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 調査方法  | 1. 試掘坑範囲は、中央区教育委員会（以下、区教委という）の事前確認のもと、都市整備局立ち会いの上で設定した。<br>2. 試掘坑掘削作業は、区教委の指導のもと、幅 1 m、深さ 1 m の段状掘削を基本に、既存構造物等により適宜変更し重機を用い行った。遺構検出は人力で精査し、遺構調査後、写真及び測量記録を行った。<br>3. 平面図及び断面図の図化はトータルステーションを使用した。座標及び標高（Tokyo Peil）は市場橋交差点北西の道路上の補助点（3A482）を使用した。また、図中に示した方位は真北を示す。<br>4. 出土遺物は遺構、表土、盛土などの層位種別ごとに取り上げた。<br>5. 写真記録は 35mm 一眼レフカメラ（リバーサルフィルム・モノクロフィルム）、デジタル一眼レフカメラを使用した。                                                                                                                          |

## 調 査 日 誌 抄 録

### 試掘発掘調査業務

- 1 月 9 日 基準点測量、試掘坑位置設定
- 1 月 16 日 現場基地設営（仮設事務所設置、発電機・調査用具等搬入）
- 1 月 23 日 コンクリートガラ、路盤材撤去作業
- 1 月 25 日 1段目重機掘削及び遺構検出開始
- 2 月 1 日 2段目重機掘削及び遺構検出開始
- 2 月 15 日 ドローンによる調査区撮影
- 2 月 21 日 東京都教育庁現場視察
- 2 月 27 日 中央区教育委員会調査指導
- 2 月 29 日 東京都教育庁現場視察（学習院女子大学 岩淵教授、大正大学 御堂島名誉教授）
- 3 月 1 日 中央区教育委員会現場終了確認
- 3 月 4 日 遺構保護シート養生作業
- 3 月 5 日 重機による埋め戻し作業、調査区清掃作業
- 3 月 11 日 アスファルト敷設作業
- 3 月 15 日 現場撤収作業開始
- 3 月 16 日 調査区・調査区周辺の防塵処理作業
- 3 月 19 日 現場撤収完了
- 3 月 21 日 現場完了検査

### 整理調査業務

- 3月 1 日 遺物洗浄作業開始
- 3月 4 日 図面修正作業開始
- 3月 6 日 遺物写真撮影作業
- 3月 7 日 図版作成作業開始
- 3月 8 日 遺物集計・梱包作業
- 3月 11 日 原稿執筆作業開始
- 3月 18 日 報告書レイアウト作業開始
- 3月 21 日 報告書完成

## 地理的・歴史的環境

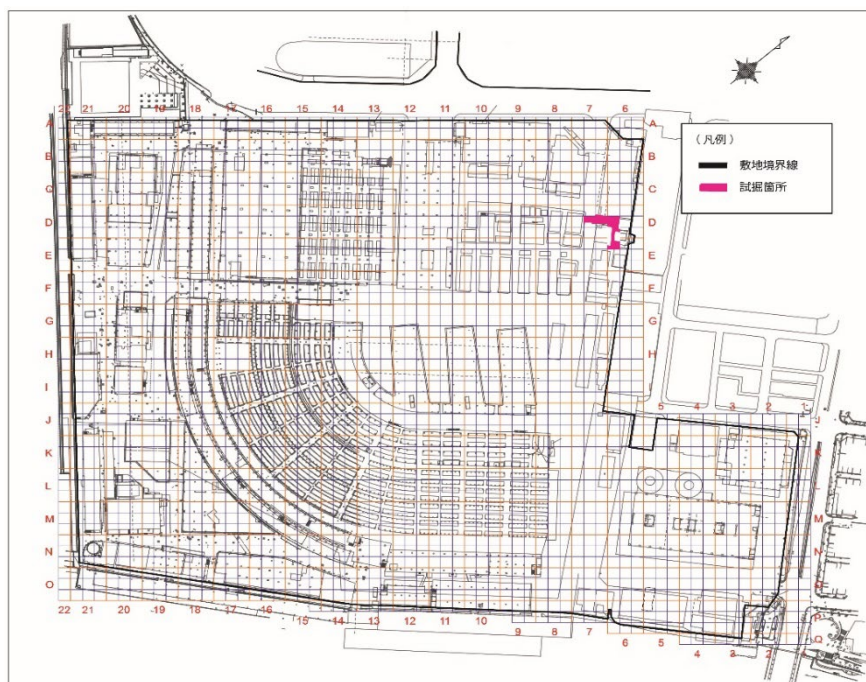
調査対象地である築地市場跡は、徳川家康江戸入府時には隅田川河口部に広がる湿地であったが、少なくとも明暦2年（1656）から翌年にかけておきた明暦の大火までには埋め立てられた。

埋め立て後は、町人地から御米蔵を経て、享保年中（1716～1736）には森川出羽守、有馬内膳、辻新之巫、稲葉若狭守、などの拝領屋敷地となった。その後、拝領地は大きく集約され、文化5年（1808）には佐倉藩主堀田相模守の屋敷地に、文政13年（1830）には紀州藩邸となったが、安政2年（1855）には幕府御用地へと変化していった。

試掘坑周辺は、寛文2年（1662）に稲葉家（小田原藩）がこの地を拝領し、屋敷地造成を目的とした普請を行った。当時はまだ埋め立ては行われておらず、万治3年（1660）から稲葉家がこの地の埋め立てを行ったとされる。「風山月楼記」（『鷲峰先生林学士文集』巻第6所収）には、埋立ての完了は寛文3年（1663）と記されており、埋立て後は稲葉家中屋敷となり、「江風山月楼」という庭園が整備されたという。その後、屋敷地は一橋家のものとなったが、寛政4年（1792）、松平定信が老中引退間際に譲り受けて隠居所とし、「浴恩園」を造園した。浴恩園内には「春風の池」と「秋風の池」という2つの池があり、浜離宮と同じく海水を引き入れた汐入りの池であった。しかし、文政12年（1829）3月の大火で被災してしまった。

明治維新後には、この地は海軍省用地となり、浴恩園のあった松平家の下屋敷は明治16年（1883）に海軍兵学校の生徒館、明治41年（1908）には海軍軍医学校等が設置された。しかし、浴恩園の2つの池は維新以降も残されたが、大正12年（1923）の関東大震災で海軍省の諸施設は大きな被害を受け、この2つの池も埋め立てられることとなった。

震災後、日本橋にあった魚河岸と京橋にあった<sup>だいこんがし</sup>大根河岸が海軍省から築地の用地を一部借り受け、一時的に公設市場が開設され、昭和10年（1935）には中央卸売市場となった。その後は、第2次世界大戦後から昭和30年（1955）まで米軍に接収されたが、築地市場の運営は、平成30年（2018）に市場が豊洲に移転するまで続いた。



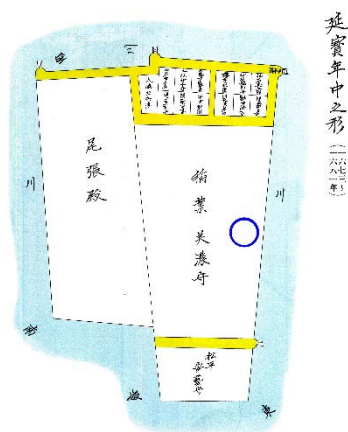
1 図 試掘坑位置図



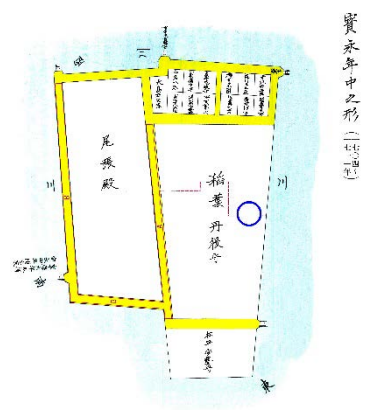
2 図 『水路部沿革史』 震災以前頃の海軍省空中写真(国土地理院)



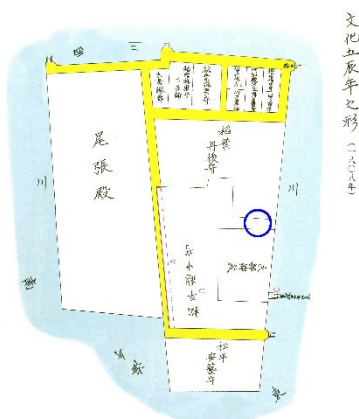
3 図 明治10年(1877)の海軍省敷地(海軍兵学校・海軍軍医学校ほか)と試掘坑  
(『水路部沿革史』(国立国会図書館)に調査範囲をはめ込んだ合成写真)



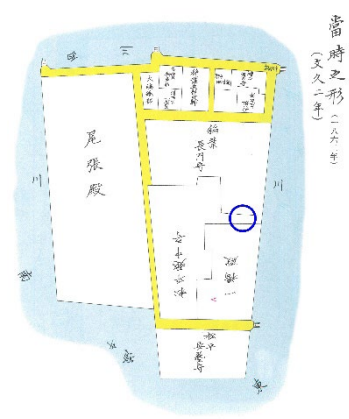
延寶年中 (1673~1681) (左)



寶永年中 (1704~1711) (右)



文化五年 (1808) (左)

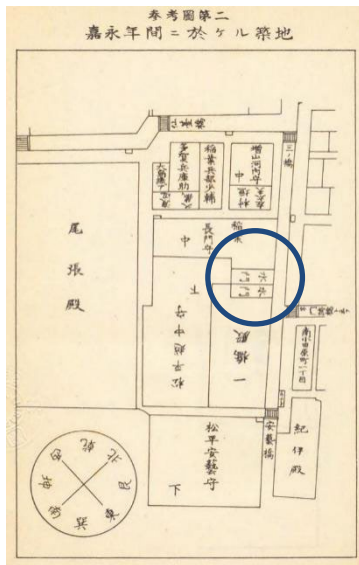


文久二年 (1862) (右)

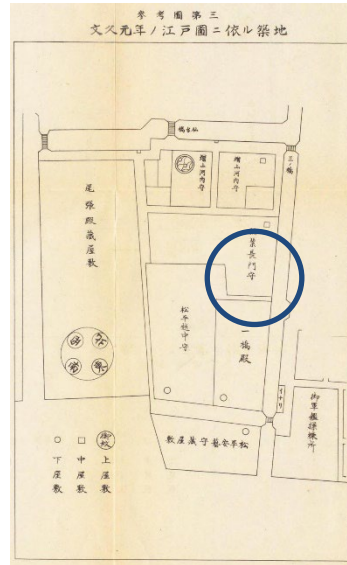
4 図 試掘坑エリアの変遷『御府内沿革図書』(中央区教育委員会)



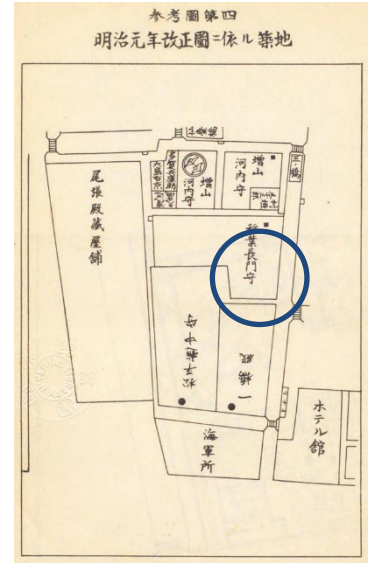
5 図 『江戸浴恩園全図』明治17年 (1884) (国立国会図書館) (図面下が南東方向を指す)



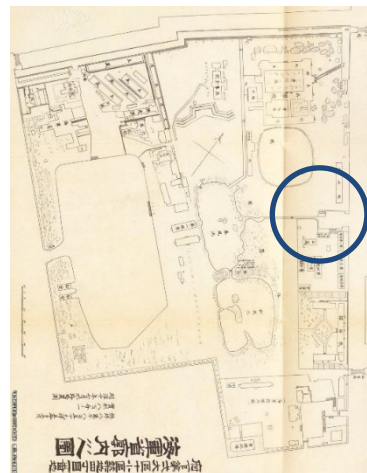
嘉永年間（1848~1854年）



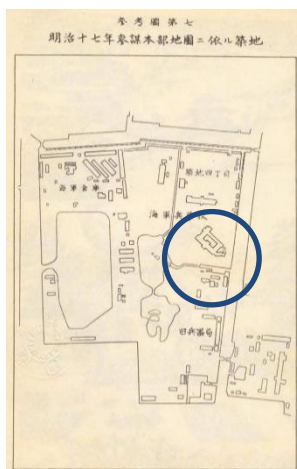
文久年間（1861~1864年）



明治元年（1868年）



明治10年（1877年）



明治17年（1884年）



明治45年（1912年）



大正14年（1925年）

6 図 試掘坑エリアの水路変遷図『水路部参考図』（国立国会図書館蔵）（水路入口に青丸を付けた合成図）

## 調 査 成 果

### 試掘坑

調査面積 311.05 m<sup>2</sup>

検出遺構 計 9 基、2 条、1 か所（石積 8 基、水路状遺構 1 条、下水溝 1 条、煉瓦組柵（便槽） 1 基、焼土整理跡 1 か所）

出土遺物 点数 523 点、重量 49 kg（磁器 203 点（内ガイシ 11 点）、陶器 53 点、炆器 3 点、瓦 154 点、煉瓦 48 点、ガラス製品 60 点、コンクリート製品 1 点、自然遺物 1 点）

調査所見 試掘坑は、旧築地市場に関連した埋設管が複数検出された。そのため、上の大部分は埋設に伴う客土となっていた。また、調査区中央部は旧築地市場の建物基礎によって壊されており、昭和時代の整地層と近代の整地層の境も不明瞭な箇所が目立っていた。

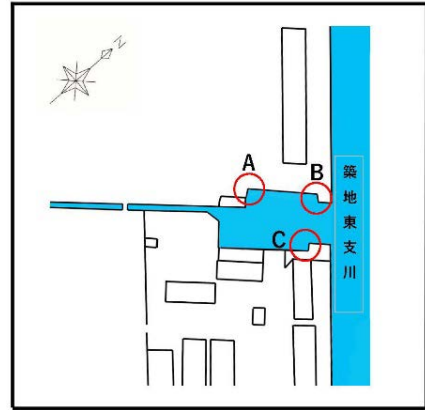
段掘り調査の 1 段目は TP= 1.8 m まで掘削したが、表層ではコンクリートガラが混入した盛土層を確認した。この盛土層を取り除くと、旧築地市場建物基礎が確認された。基礎部の下層は、レンガ片混じりの整地層で、ガラス瓶の破片やコンクリートガラが共に出土していた。これらは関東大震災時に崩壊した海軍省時代の施設の廃材と考えられる。また、出土遺物は近代から昭和時代に比定されるものが主体となるが、数は少ないものの、中には近世の陶・磁器も含まれている。その理由の一つとして、切り土工事によって土中の近世の遺物等が混入してしまうということが考えられる。よって、瀬戸・美濃系の碗や瓶、肥前系の染付碗や鉢などの近世陶磁器片や近代初頭の型紙摺りの碗片、大日本麦酒（株）のビール瓶（明治 39 年~昭和 8 年生産）、昭和時代の牛乳瓶等が同一土層から出土している。

段掘り調査の 2 段目は TP= 1.0 m まで掘削したが、当該層はレンガ片主体の層と近世の造成層の間層に相当する。出土遺物は近代の遺物が主体となるが、大半は明治時代に比定される。特に、中央部から西部にかけて、「陶峰園製」の銘の入った瀬戸美濃系碗の破片が 4 点出土しており、海軍省内で使用していたものと推測される。また、調査区中央部で埋土された石炭ガラや灰混じりの砂層からは、近代の瓶や碗の破片が 4 点、ガラス瓶 3 点が出土している。しかし、肥前系の松竹梅文や花唐草文、菊花文等が描かれた染付碗や青磁鉢片、瀬戸・美濃系の陶器の鉢、洋皿等の近代陶磁器のほか、菊花文等の湯呑碗・草花文等が描かれた「くらわんか」碗等の磁器、瀬戸・美濃系の陶器の徳利等、近世に比定される陶磁器も少なからず出土している。

当調査区から確認された遺構は、調査区中央部で「石積 1・3~8」、「水路状遺構 1」、「焼土整理跡 1」、調査区南部で「石積 2」、西部で「下水溝 1」・「煉瓦組柵（便槽） 1」が該当する。これら確認された遺構と出土遺物に関しては、以下で順に述べていきたい。

### (1) 「石積1」 (D6-8、D7-2、D7-5グリッド)

本遺構は、トレンチ掘りの結果、TP約 1.4 mで17~32cmほどの石垣石が、「石積3」とほぼ並行して東西方向に約19.8mの範囲で確認された。しかし、並行している「石積3」と近接しているため、深く掘り下げることができず、何段で構築されているのかは不明である。しかし、これらは位置的に近世の浴恩園の池に繋がる水路であった可能性がある。また、本遺構は西端部で120度ほど屈曲しており、海軍省水路部の明治10年（1877）の絵図とも一致している（6・7図）。



7図 海軍省水路部絵図(水路カ)略図

また、検出された遺構と絵図をすり合わせると、本遺構が浴恩園の水路の北壁であったと仮定した場合、後述する「石積2」もまた同様に屈曲しているため、この絵図から判断して、一辺約22mの範囲で大きな取水口が存在していた可能性が示唆される。なお、水路の南壁を「石積2」とするのではなく、後述する「水路状遺構1」と仮定することも想定される。理由としては、「水路状遺構1」の南壁は石垣石を3段に組んだ構造となっており、元来、近世の石積であったものを近代以降の下水溝壁に転用したものである。いずれにしてもこの二つの仮説に挙げた「石積2」及び「水路状遺構1」のいずれかが浴恩園の水路の南壁であったと推測できるのではないだろうか。なお、本遺構の構築時期については近世と推測されるが、近代に入ってもなお、浴恩園の池は海軍省の地図に表記されていることを前提として考えると、本遺構の廃絶時期は、後述する「石積3」が構築された近代初期段階であった可能性がある。その理由としては、「石積1」と「石積3」が並行して検出されていたことや、石積の裏込めから出土した5点の遺物が、全て18世紀~19世紀前半頃に比定されるためである。出土遺物は、陶器は瀬戸・美濃系の碗で、磁器は全て肥前系の碗であった。

### (2) 「石積2」 (E6-7グリッド)

本遺構は、E6-7グリッドの中央部に位置する。確認された部分は石積のコーナー部であり、北西方向と南西方向に「く」の字に屈折している。いずれも石垣石が4段に積まれた状態で遺存しており、最上段はTP +0.46 cmであった。ただし、本来は何段で構築されたものであったかは不明である。石垣石はツラ30 cm四方のものが大半であったが、小ツラ横が20~60 cmの様々な幅の石垣石が混在していた。また、裏込の幅はツラより約0.8~1.2 mであったが、土丹が認められたのは部分的であった。石積の最下部は、高さ約20cmの胴木が敷かれ、ツラ側が杭で固定されていた。また、北西方向の石積には胴木の下に直交して角材が1本確認された。出土遺物は、19世紀代に比定される磁器碗3点が石積の裏込上層部分から確認された。

### (3) 「石積3」 (D6-8、D7-2グリッド)

本遺構は一部攪乱で壊されていたものの、上記グリッドにおいて東西方向に約15.9mの範囲で確認された。この石積は、切石が4段に積み重ねられた状態で検出されており、最上段のTPは約1.8 mであった。しかし、最上段の切石の上面には切石同士を接着しているモルタルが厚く堆積している箇所が認められており、本来は5段以上あったものとみられる。また、切石は大谷石によるもので、縦21 cm×横92 cmと縦31 cm×横92 cmの切石が主体である。なお、この切石の規格は「石積4~6」と同様である。

加えて、本遺構は「石積4・6」に直交し、「石積5」と並行しているが、4段認められる石積は本遺構のみであり、ほかの石積とは異なる構造であった。また、本遺構は、位置的に近世の浴恩園の池に繋がる水路と同じ位置で確認されており、これが踏襲された遺構であるものと考えられる。この水路は、近代の海軍省の地図にも記載されており、そのため、発見当初は本遺構が「石積4」とともに水路の壁の用途で同時期に建てられたものと推測して調査を行った。しかしながら、調査を進めていくに従い、「石積4」の基礎は切石を縦に設置したロウソク石であったため、本遺構の基礎と「石積4」の基礎とは構造が大きく異なることが判明した。また、双方ともに近代に構築されたものと判断されるが、本遺構が近世に埋土した強固な地盤上に構築されているのに対して、「石積4」は近代に石炭ガラを主体とした廃棄物によって埋土した緩い地盤上に構築されていた。以上から、建物構造と地盤環境に明らかな差異があり、同時期に構築されたものとは考えられないため、造り替え等の可能性があると考えられる。

#### (4) 「石積4」(D6-8グリッド)

本遺構は、D6-8グリッドの東端において、南北長 3.3 mの範囲で確認された。TP+約2.45 mである。確認された切石は1段で、大谷石によるものである。また、切石の上面には「石積3」同様、切石同士を接着していたとみられるモルタルが厚く認められた箇所があり、本来、切石は複数段あったものと考えられる。また、このモルタルの上部には関東大震災によって崩壊された煉瓦建物のガラや焼土が 3 cmほど堆積していることから、本遺構が廃絶された時期は関東大震災ないしこれ以前であると思われる。また切石の下部にはロウソク石が真芯間約 1.2 mで確認された。

なお、「石積3」についても上部が壊されていたが、こちらの切石上には焼土の堆積が見られないことから、「石積3」は関東大震災後に廃絶されたものと思われ、双方の廃絶時期が異なる可能性が高い。

#### (5) 「石積5」(D6-8グリッド)

本遺構は、D6-8グリッドの南端において東西長約 5.1 mの範囲で大谷石による切石が1段確認され、TP+約1.8mである。切石の下部には、「石積4」同様、ロウソク石が真芯間0.75～1.85mで確認された。本遺構は切石の並びに歪みが認められ、基礎部の埋土は「石積4」と同一層で、石炭ガラが主体である。また、切石の上面は他の切石同様、切石同士を接着していたモルタルが確認された。

#### (6) 「石積6」(D7-2グリッド)

本遺構は、D7-2グリッドの南部において南北長約 1.9 mで大谷石による切石が1段確認され、TP+約 1.75mである。また、「石積3」と直交する。切石は無造作に積まれた、やや粗雑な構造で、大きく歪んでいた。また、本遺構の中央部は木製の電信柱基礎によって壊されており、詳細は不明である。

#### (7) 「石積7」(D6-9グリッド)

本遺構は、D6-9グリッド中央部において東西長約4.1mの範囲で確認された。切石は、凝灰岩と花崗岩によるもので4段確認され、TP+約 1.0 mである。また、「水路状遺構1」のコンクリート床が本遺構の北側を覆うように重なっており、全様は明らかになっていない。しかし、「石積7」と「石積8」のツラがそれぞれ南側と北側に向いており、栈橋状に並行に検出されていることからみて、浴恩園の水路の両壁であった可能性がある。遺物は石組のトレンチ部分から出土した破片で、コバルト釉が施された碗や皿、瀬戸・美濃系の陶器の水鉢、唐津産の鉢片などであり、全て近代に比定されるものである。また、裏

込めの上層部分から出土した遺物は、18世紀～19世紀前半頃に比定されるもので、陶器は瀬戸・美濃系の碗、磁器は全て肥前系の碗であった。

(8) 「石積8」 (D6-9グリッド)

本遺構は、D6-9グリッド中央部において東西長約3.8mの範囲で確認された。切石は、凝灰岩や花崗岩によるもので4段確認され、TP+約1.0mである。また、「水路状遺構1」のコンクリート床が本遺構の南側を覆うように重なっており、全様は明らかにはなっていない。しかし、「石積7」と並行していることや、「石積7・8」のツラがそれぞれ南側と北側に向いており、栈橋状に検出されていることからみて、「下水溝1」の北壁と推測される。また、位置的にみて、「石積8」とともに、本来は、浴恩園の水路の両壁であった可能性がある。

(9) 「水路状遺構1」 (D6-9グリッド)

本遺構は、D6-9グリッドの中央部に位置し、調査開始当初はコンクリート製の長い床板とみられていたが、一部を除去したところ、水路状遺構であったことがわかった。遺構の全幅は約1.5mで、溝幅約1.2m、内高は約1.0mであった。遺構の南壁は石積となっており（「石積7・8」）、石垣石が3段積み重ねられていた。北壁は大谷石の切石がモルタルで上塗りされた状態で検出されており（「石積8」）、いずれの壁も1回以上の改修を経たものとみられる。遺構の内部には発泡スチロールの皿や空き缶などの遺物が残されており、第二次世界大戦後も機能していたことが確認された。また、本遺構は調査区外へと延びているが、東端は土砂で埋まっていた。

(10) 「下水溝1」 (D7-2グリッド)

本遺構は、D7-2グリッドの西部に位置する。また、「石積1・3」と直交し、「煉瓦組拵（便槽）1」と隣接して検出された。検出された標高はTP+約1.84mで、長さ約5.4m、幅約0.32m、深さ約10cmであり、北から南に緩やかに傾斜していた。遺存状況は不良であったが、構造は柶器のU字溝（土樋）を組み合わせてコンクリートで固定した造りである。遺物は5点出土したが、全て近代の所産である。

(11) 「煉瓦組拵（便槽）1」 (D7-2、D7-5グリッド)

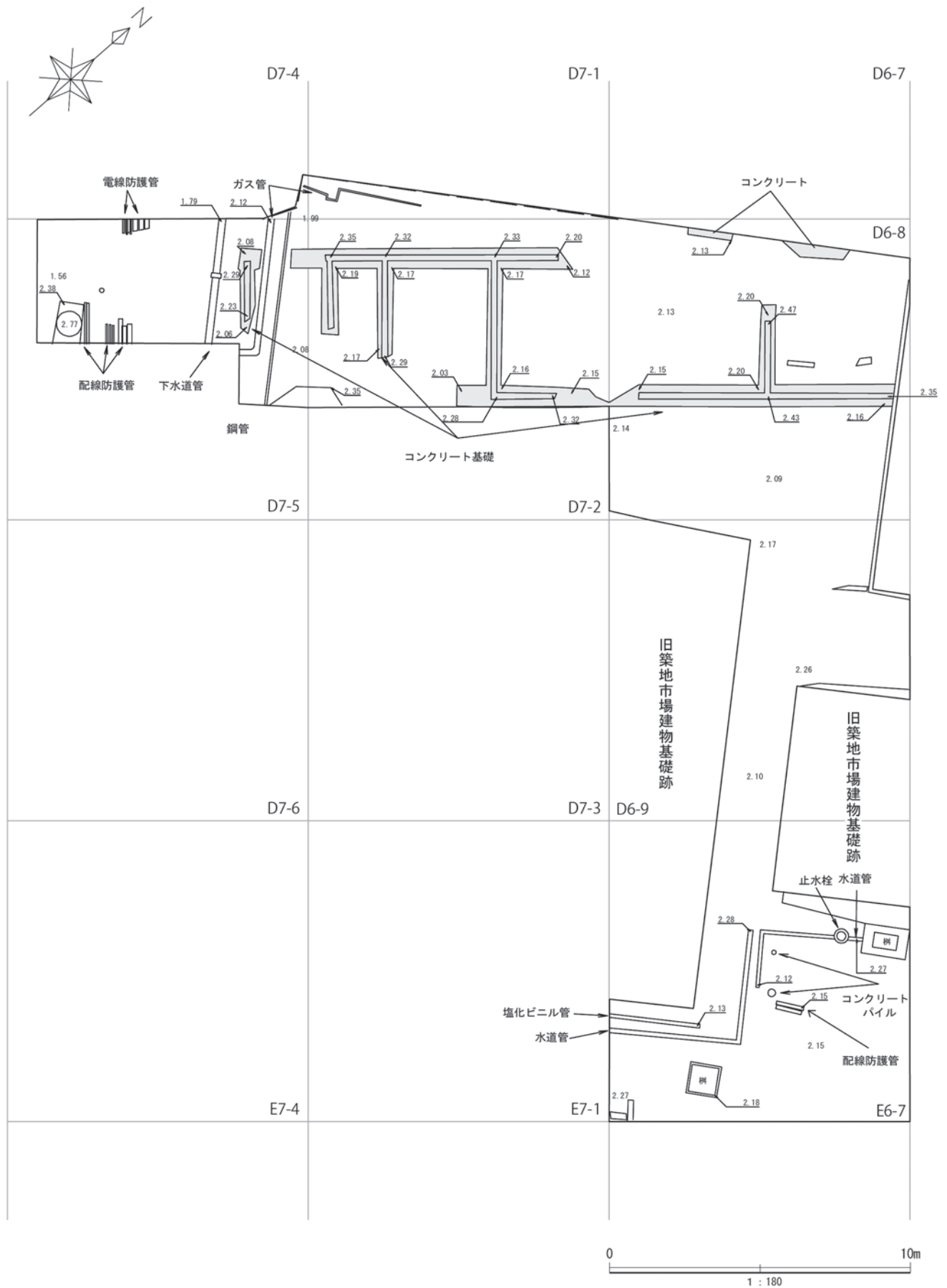
本遺構は、D7-2グリッドの西部に位置し、平面形は約1.2m四方の正方形で、砂利が多量に含まれる粗いコンクリート基礎の上に煉瓦が3段「長手積み」で重ねられた造りである。最上段の煉瓦の上面には、煉瓦同士を接着しているモルタルが厚く堆積している箇所が認められ、本来は3段以上あったものと思われる。内部には壊れた煉瓦や近代に比定される瀬戸・美濃系の鉢や肥前系の陶器の瓶のほかに便器の破片が癒着して遺存していた。

(12) 「焼土整理跡」 (D6-8、D6-9グリッド)

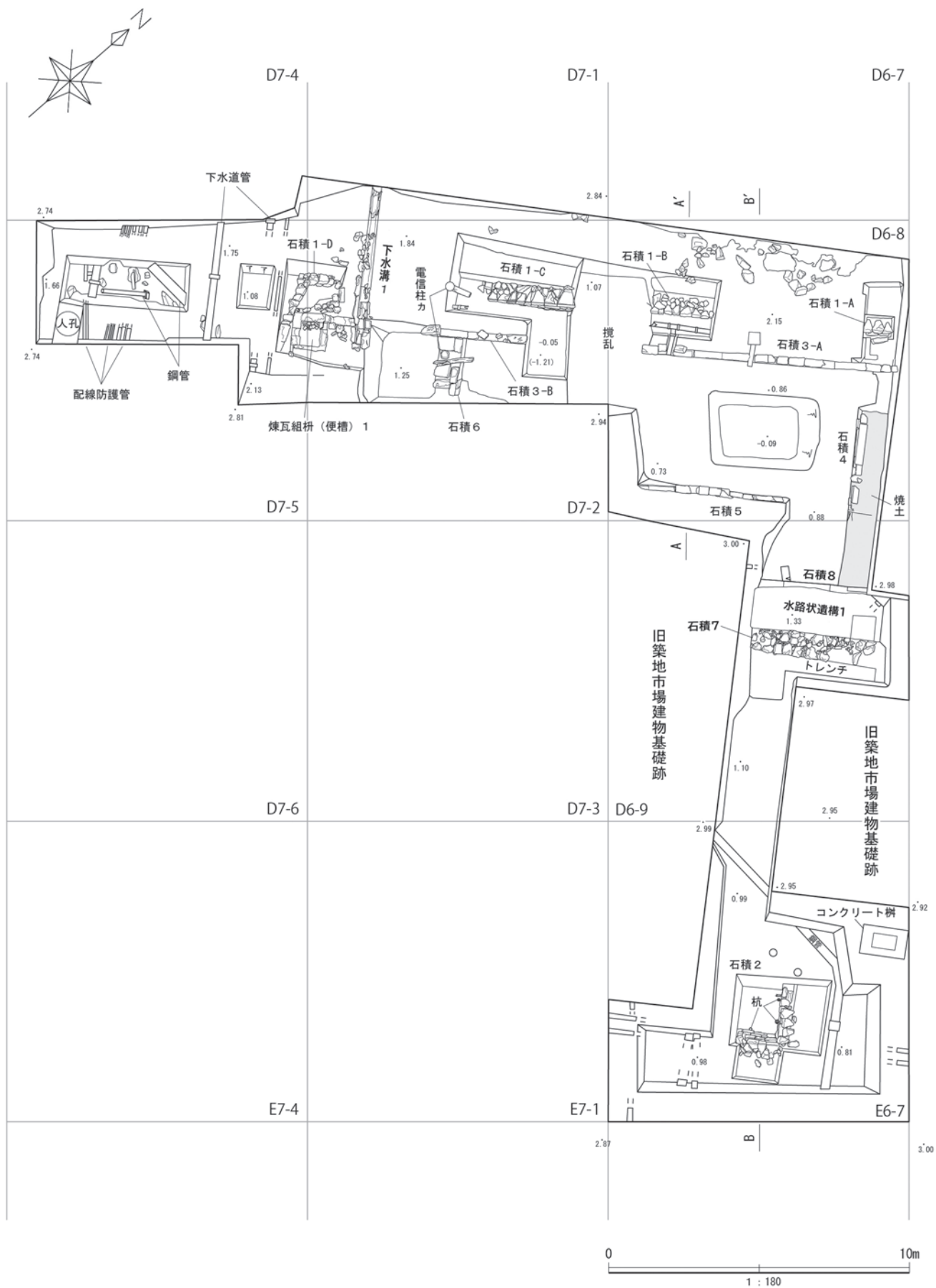
焼土はD6-8、D6-9グリッドの東部に広がっており、出土遺物や土層より、関東大震災による火災を起因として堆積したものと判断した。土層の厚さは3～5cmである。遺物は33点出土したが、肥前系の磁器碗以外はすべて近代に比定できるものであった。そのうち18点はガラス製品であったが、高温でガラス板が融着した破片が4点確認された。また、「四」と墨書された不明コンクリート製品が1点出土している。これらの遺物は焼土の中から出土したものであるが、融着したガラスの破片以外は被熱しておらず、焼土を埋築土する際に同時に廃棄したものである。

## 引用・参考文献

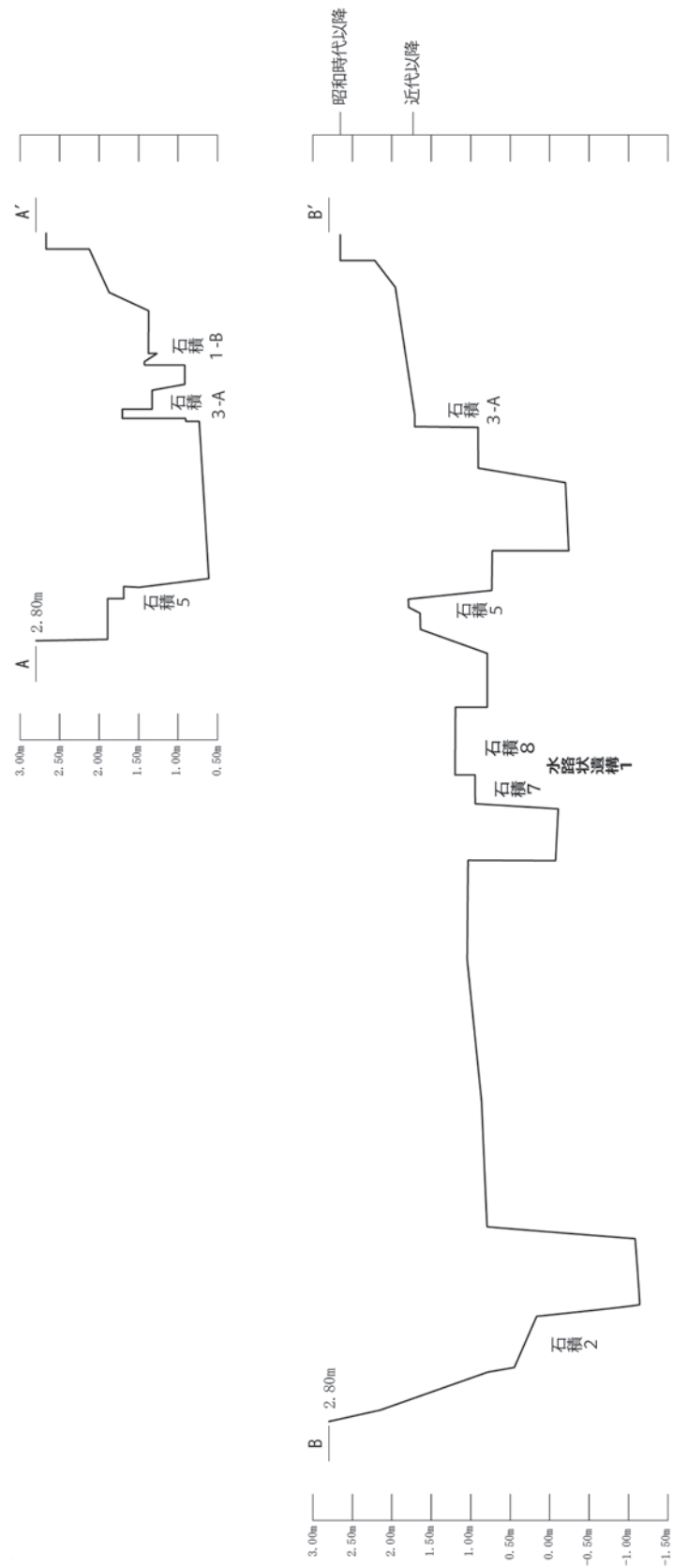
- ・海軍兵学校 1919『海軍兵学校沿革』第1巻（国立国会図書館デジタルコレクション）
- ・水路部 1935『水路部沿革史-明治19年至大正15年（昭和元年）』（国立国会図書館デジタルコレクション）
- ・安藤菊二 1979「切絵図考証一二」『郷土室だより』第25号 東京都中央区立京橋図書館  
＊「浴恩園記」原文及び解説記事
- ・今橋理子 1999「江戸時代〈庭園画〉研究序説」『学習院女子大学紀要』創刊号
- ・東京都埋蔵文化財センター 2014『築地五丁目遺跡-東京国税局(仮称)整備等事業に伴う埋蔵文化財発掘調査』東京都埋蔵文化財センター調査報告 第291集
- ・東京都第一市街地整備事務所・株式会社四門 2021『築地市場跡地に係る埋蔵文化財試掘調査委託2築－5業務報告書』
- ・東京都第一市街地整備事務所・国際文化財株式会社 2022『築地市場跡地に係る埋蔵文化財試掘調査委託3築－2業務報告書』
- ・東京都第一市街地整備事務所・国際文化財株式会社 2022『築地市場跡地に係る埋蔵文化財試掘調査委託3築－5業務報告書』
- ・東京都埋蔵文化財センター 2023『都旧跡・浴恩園跡』-築地まちづくりにおける東京都指定旧跡及び同範囲内の埋蔵文化財の予備調査-東京都埋蔵文化財センター調査報告



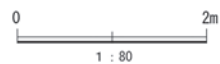
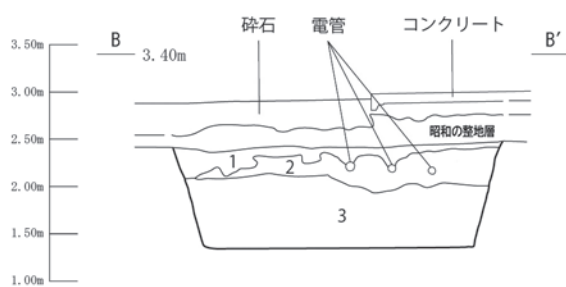
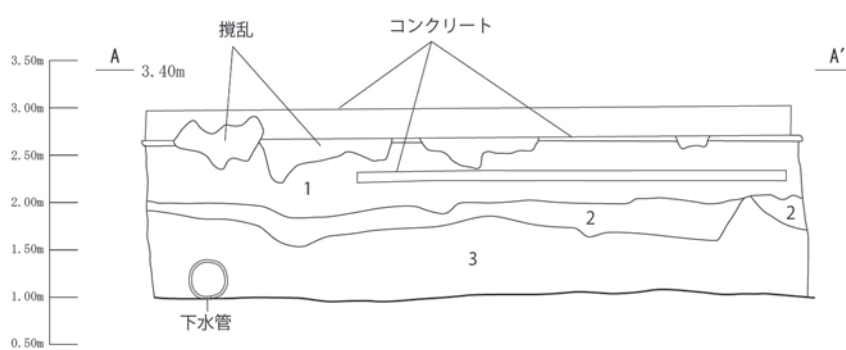
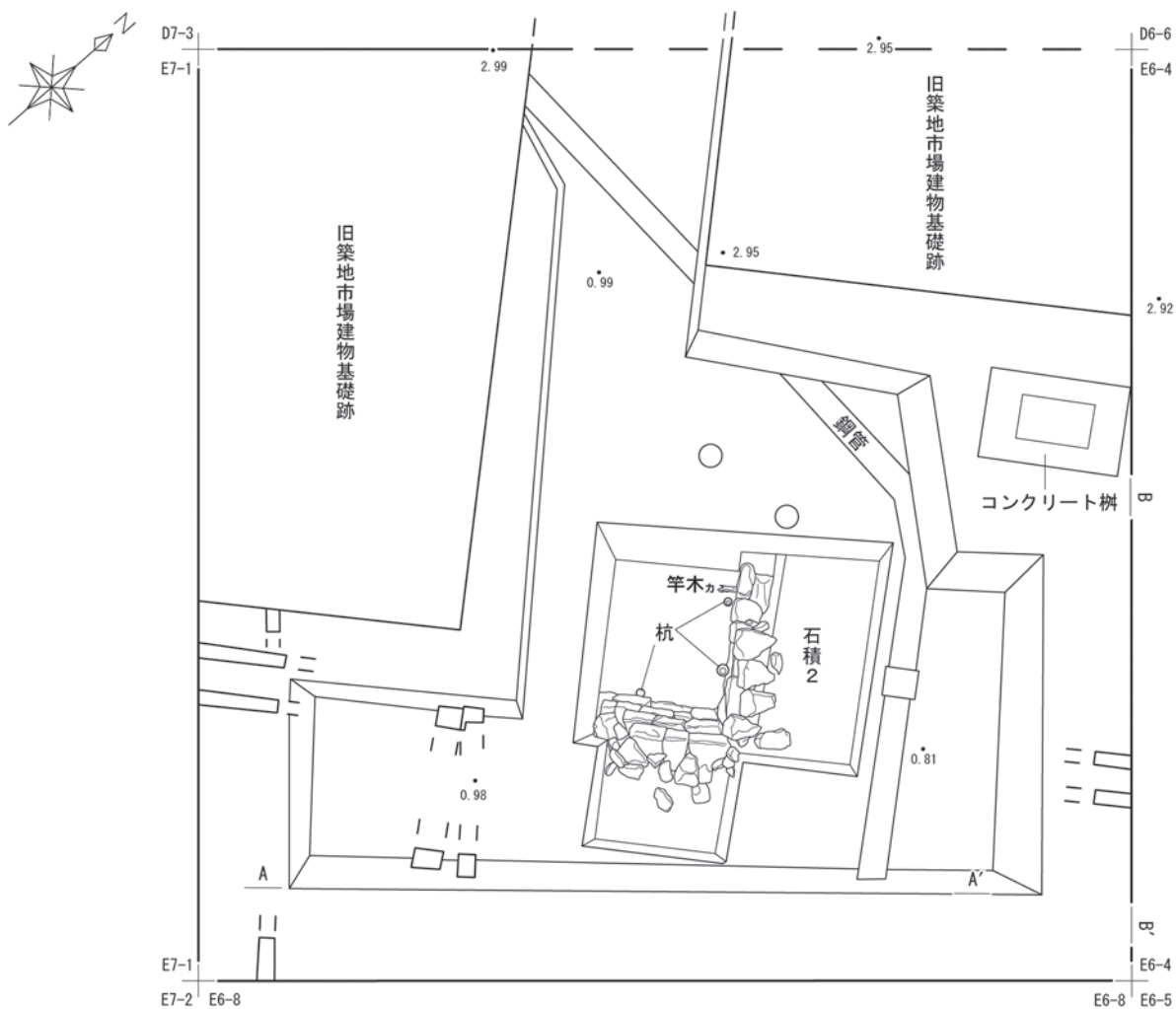
8図 全体図(1)上層



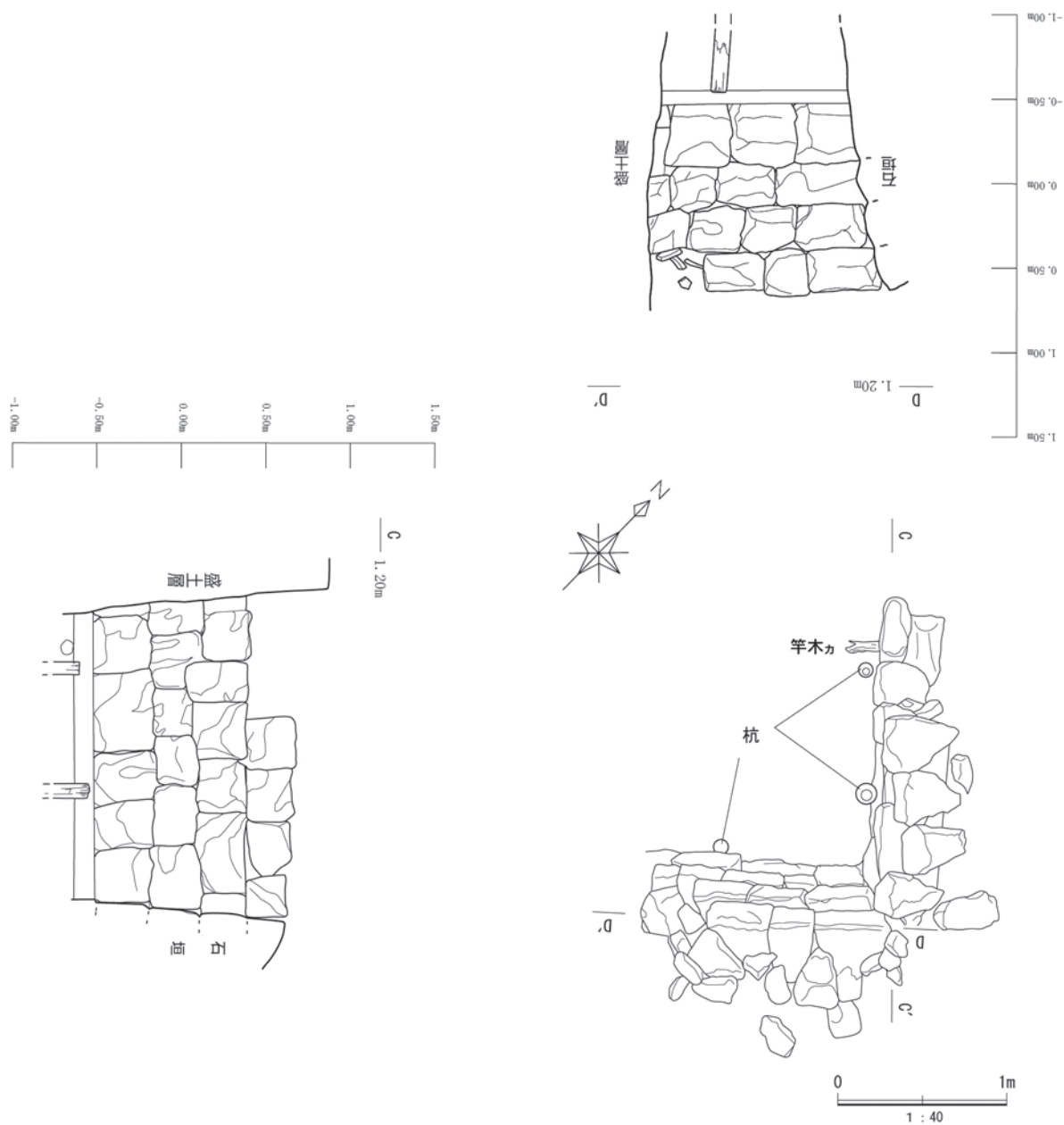
9図 全体図(2)中層



10図 全体図(3) エレベーション図

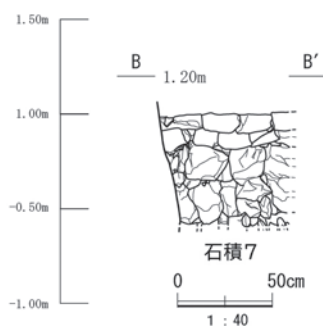
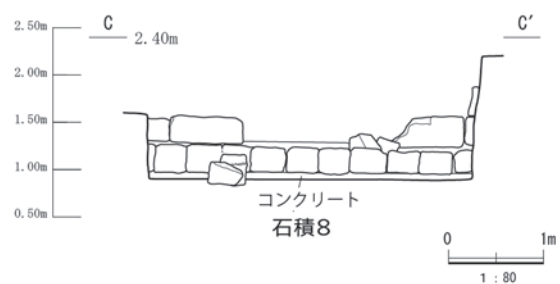
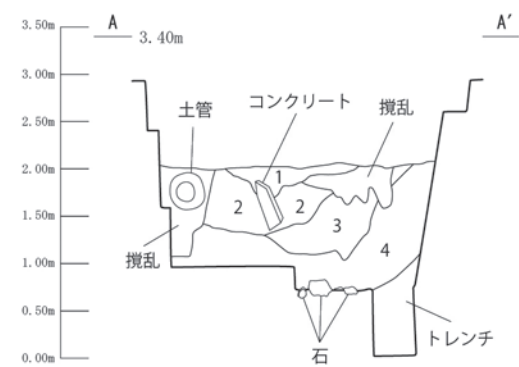
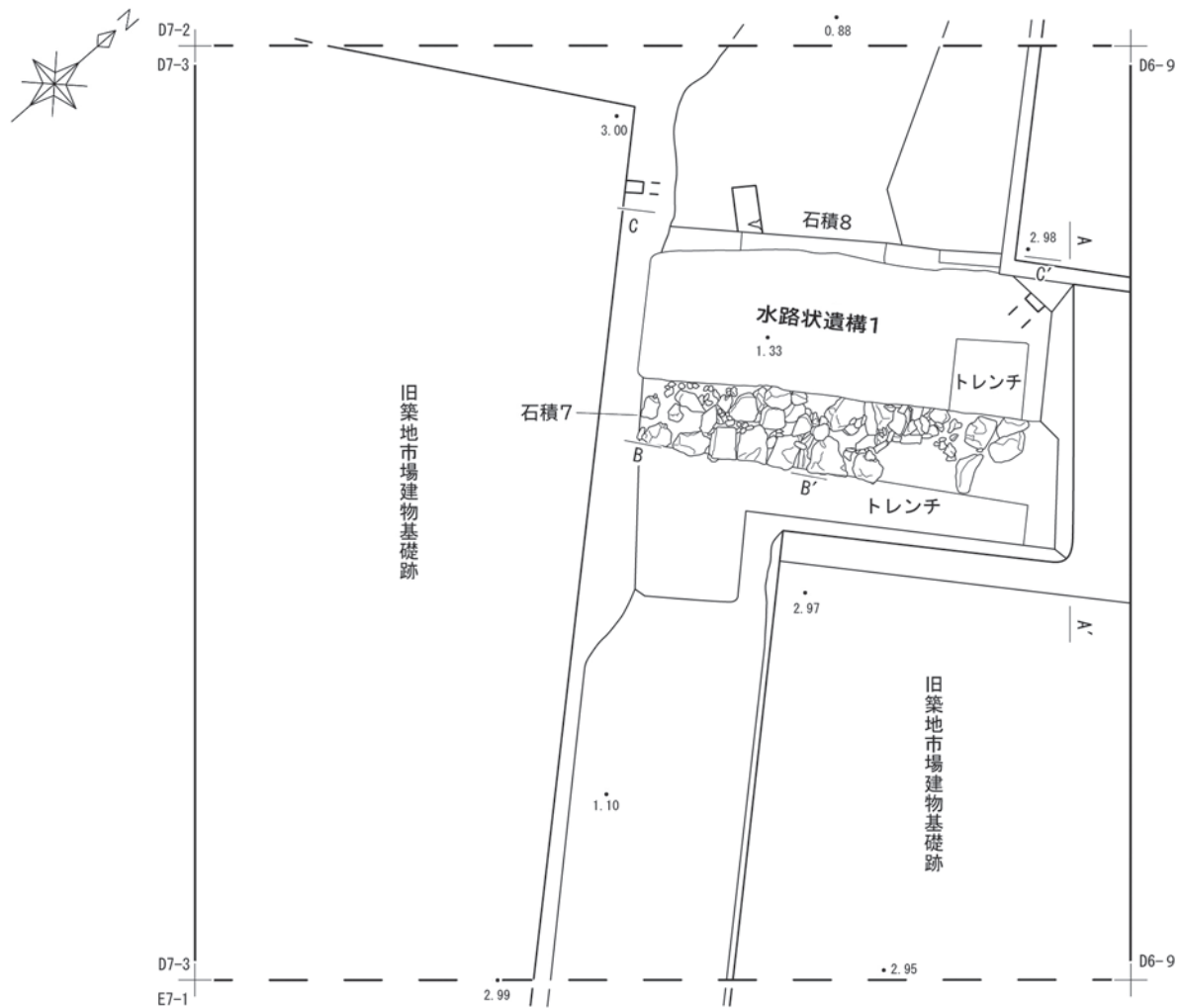


11図 E6-7グリッド全体図



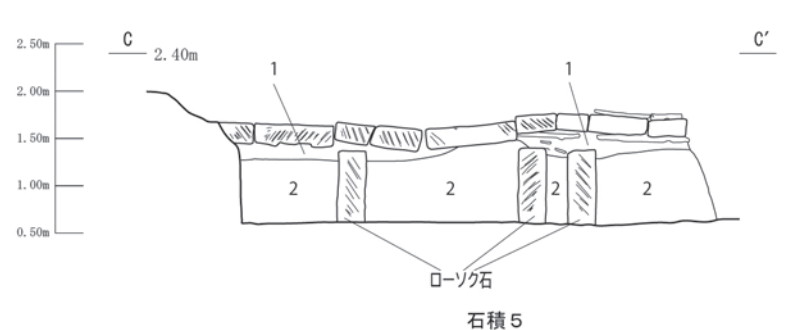
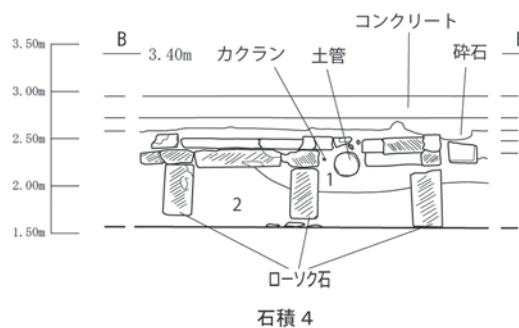
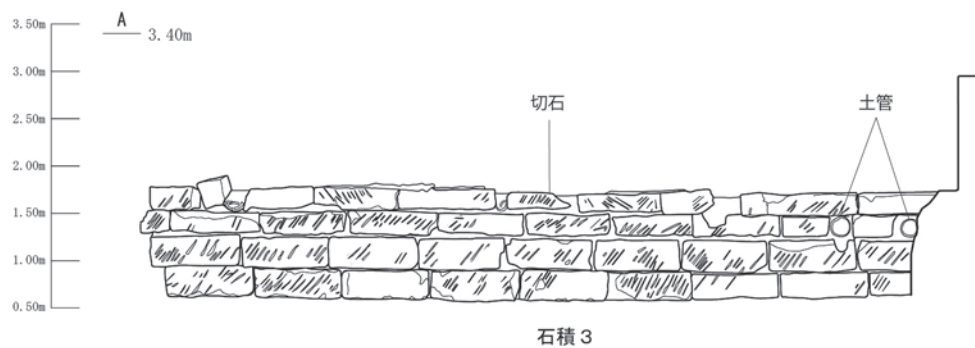
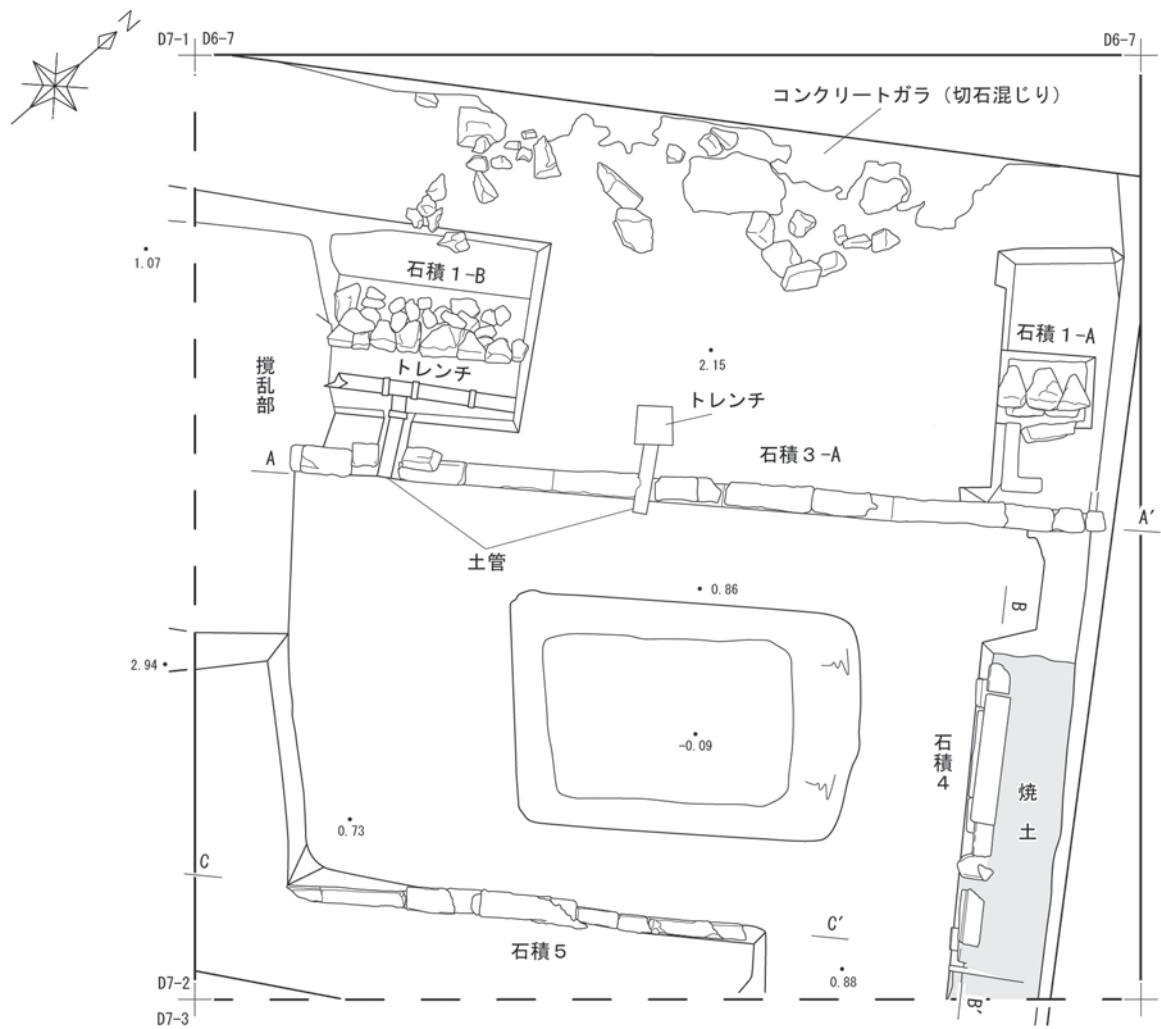
- A・Bライン
1. 灰オリーブ色(7.5Y5/3) 粘性なし、締り弱い。φ5～15cmの礫を少量含む。
  2. 灰オリーブ色(7.5Y4/2) 粘性なし、締り弱い。φ5～15cmの礫、シルトを少量含む。
  3. 暗灰黄色(2.5Y5/2) 粘性なし、締りなし。砂質土中量含む。
- C・Dライン
1. 黒褐色(2.5Y3/1) 粘性、締りあり。砂質土を含む粘質土。φ40mmの礫を含む。

12図 遺構図「石積2」



- A ライン
1. 暗オリーブ色(5Y4/3) 粘性なし、締り弱い。砂質土混じり。φ3~5cmの礫を少量含む。
  2. オリーブ灰色(5GY5/1) 粘性なし、締り弱い。砂質土混じり。φ1~5cmの礫を少量含む。
  3. オリーブ黒色(7.5Y3/2) 粘性なし、締り弱い。砂質土混じり。瓦片少量含む。
  4. 暗褐色(10Y3/4) 粘性なし、締り弱い。砂質土混じり。φ3~5cmの礫を少量含む。

13図 D6-9グリッド全体図

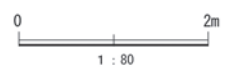


B・Cライン

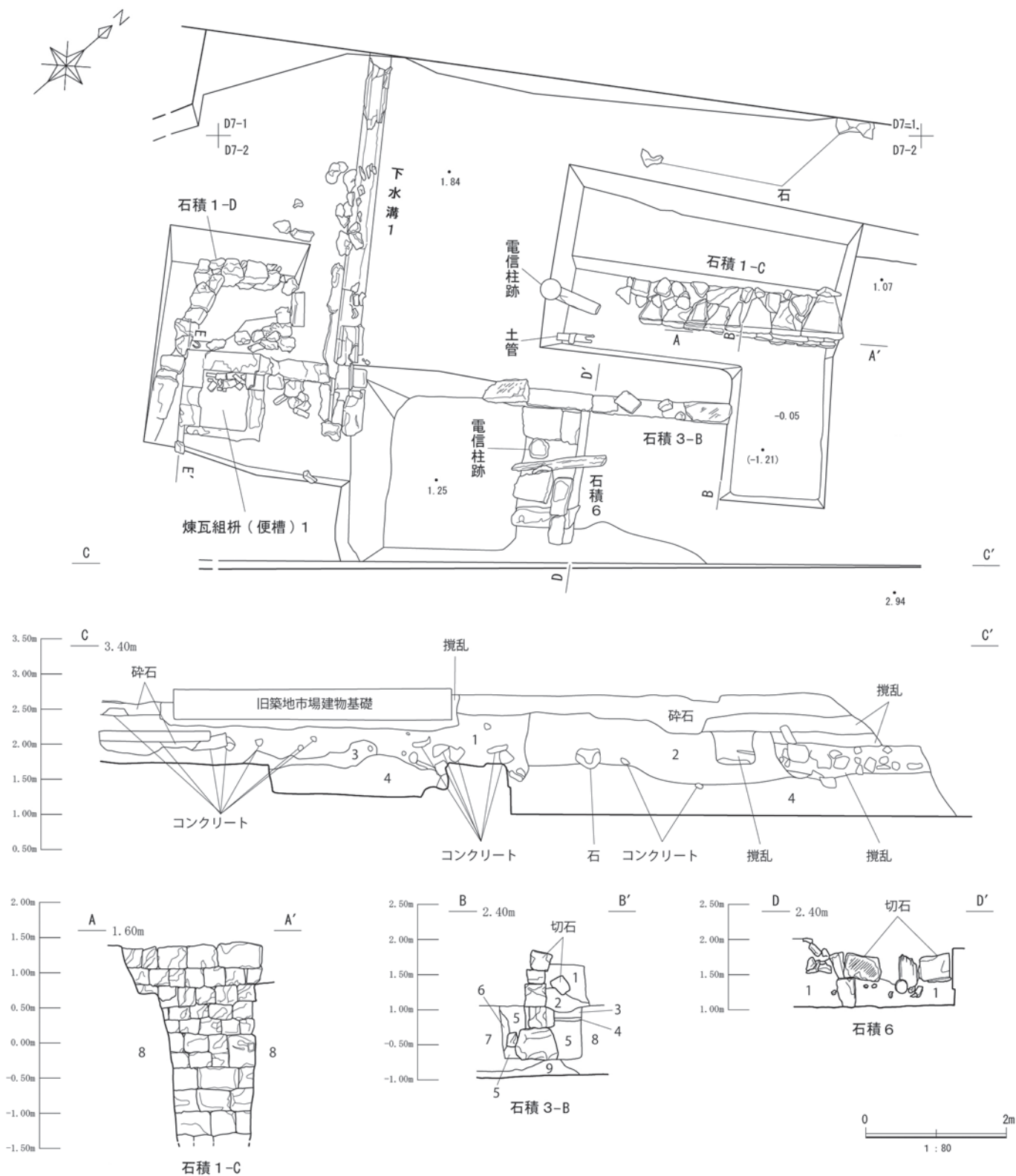
1. 灰オリーブ色(7.5Y5/3)  
2. 灰色(10Y6/1)

粘性なし、締り非常に弱い。石炭ガラ主体。

粘性なし、締り非常に弱い。石炭ガラを主体的に含む。



14図 D6-8グリッド全体図



#### Bライン

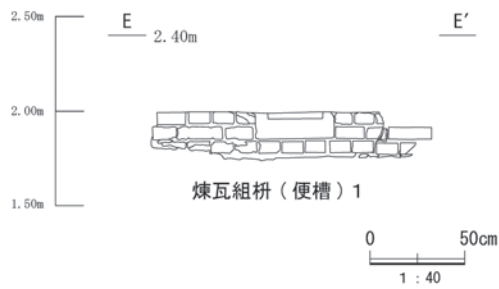
1. 暗灰黄色(2.5Y5/2)
2. オリーブ色(5Y5/4)
3. 灰オリーブ色(7.5Y4/2)
4. にぶい黄色(2.5Y6/4)
5. オリーブ黒色(5Y3/2)
6. 灰オリーブ色(5Y5/3)
7. 灰色(7.5Y5/1)
8. オリーブ黒色(5Y3/2)
9. 暗褐色(10Y3/4)

\* 第7層は、Dライン第1層と同一層。

粘性なし、締り弱い。  
粘性なし、締り弱い。  
粘性なし、締り弱い。  
粘性なし、締り弱い。  
粘性なし、締り弱い。  
粘性なし、締り弱い。  
粘性なし、締り弱い。  
粘性なし、締り弱い。  
粘性やあり、締りあり。

砂質土。φ2~5cmの礫を中量含む。  
砂質土。φ5~15cmの丸礫を多量含む。  
砂質土。  
φ5~10cmの礫・粘土ブロックを少量含む。  
φ1~3mmの礫・炭化物粒を中量含む。  
φ1~5cmの礫を少量含む。  
石炭ガラ主体。φ1~3mmの炭化物粒・礫を微量含む。  
φ1~5mmの礫・炭化物粒を中量含む。  
砂質土混じり。

15図 D7-2グリッド全体図



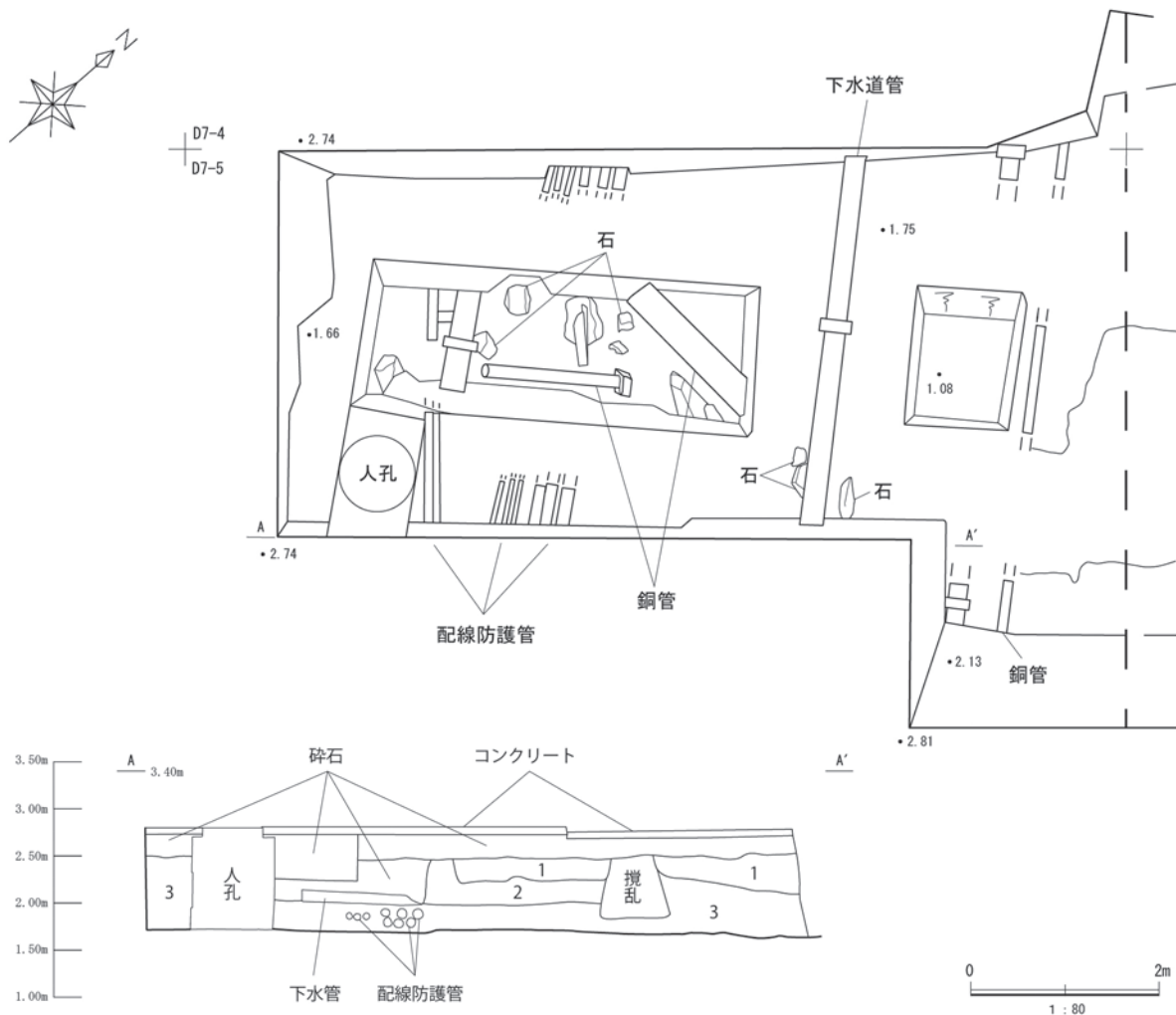
#### Cライン

1. 暗褐色(7.5Y3/4) 粘性ややあり、締り弱い。φ5~10cmの礫を中量含む。
2. 暗褐色(7.5Y3/3) 粘性ややあり、締り弱い。φ5~20cmの礫を中量含む。
3. 灰オリーブ色(5Y5/3) 粘性なし、締り弱い。φ5~20cmの礫を中量含む。
4. 暗オリーブ色(5Y4/3) 粘性なし、締り弱い。砂質土混じり。φ1~3cmの礫を多量含む。

#### Dライン

1. 灰色(7.5Y5/1) 粘性なし、締り弱い。石炭ガラ主体。φ1~3mmの炭化物粒・φ3~5cmの礫を微量含む。
- \* 第1層は、Bライン第7層と同一層。

16図 煉瓦組桁(便槽)1土層図



#### Aライン

1. 暗褐色(7.5Y3/4) 粘性ややあり、締り弱い。φ5~10cmの礫を中量含む。
2. オリーブ黒色(5Y3/2) 粘性なし、締り弱い。φ1~5mmの礫・炭化物粒を中量含む。
3. 暗オリーブ色(5Y4/3) 粘性なし、締り弱い。砂質土混じり。φ1~3cmの礫を多量含む。

17図 D7-5グリッド全体図

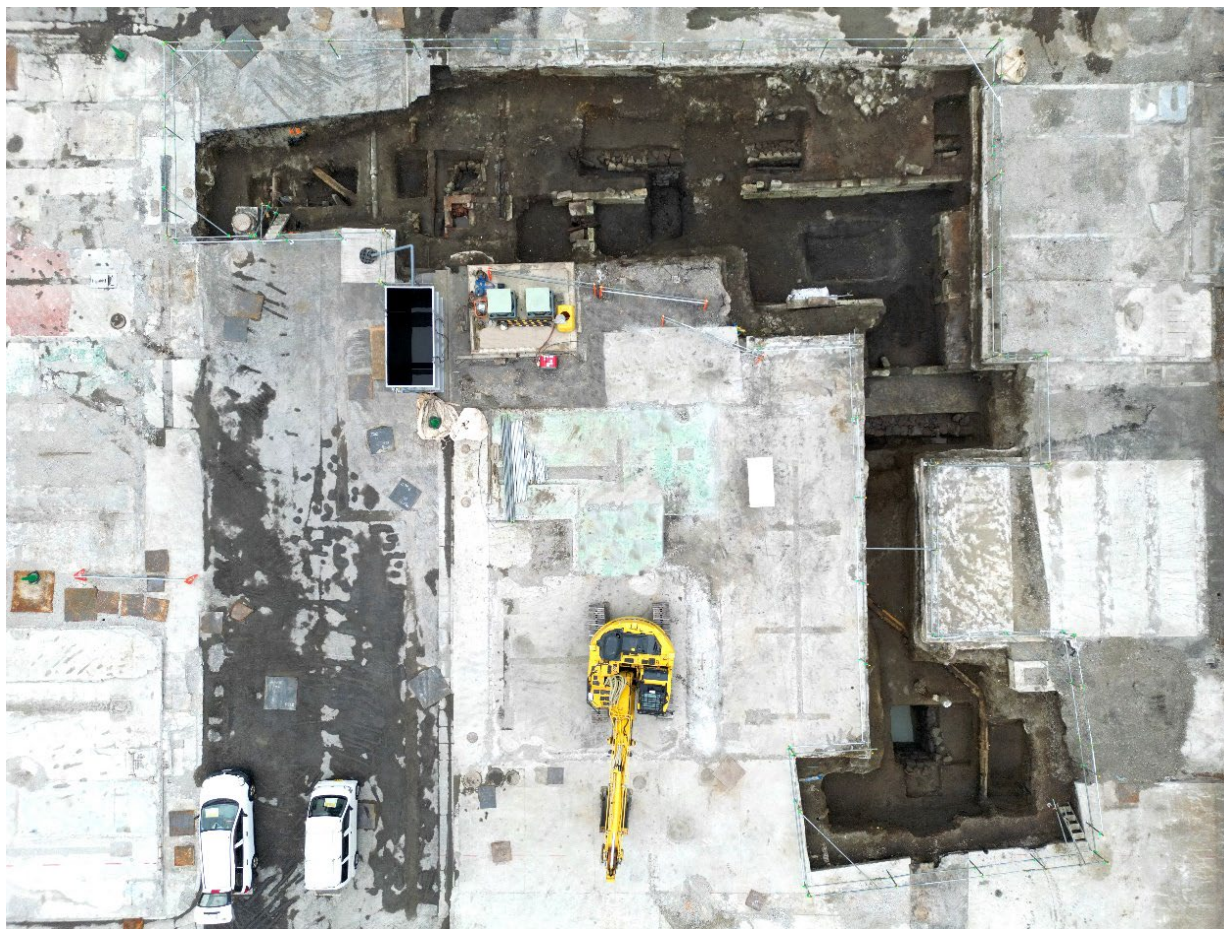
表 1 出土遺物集計表

重量はすべて (g) 表記

|            | 磁器    |    | 青磁  | 陶器    | 炻器  | 土器 | 瓦      | 土<br>製品 | 金属<br>製品 | 木<br>製品 | 骨角<br>製品 | ガラス   | コンクリート<br>製品 | 自然<br>遺物 | 煉瓦                | 備考 | 合計     |
|------------|-------|----|-----|-------|-----|----|--------|---------|----------|---------|----------|-------|--------------|----------|-------------------|----|--------|
|            | 点数    | 重量 |     |       |     |    |        |         |          |         |          |       |              |          |                   |    |        |
| 中央部 上層     | 21    |    | 3   | 4     | 1   |    | 11     |         |          |         |          | 3     |              | 1        | 3                 |    | 47     |
|            | 238   |    | 50  | 60    | 119 |    | 1,356  |         |          |         |          | 365   |              | 4        | 684               |    | 2,876  |
| 南部 上層      | 21    |    |     | 9     |     |    | 12     |         |          |         |          | 2     |              |          | 1                 |    | 45     |
|            | 333   |    |     | 1,269 |     |    | 280    |         |          |         |          | 29    |              |          | 1,021             |    | 2,932  |
| 西部 上層      | 15    |    |     | 6     |     |    | 21     |         |          |         |          | 5     |              |          | 3                 |    | 50     |
|            | 209   |    |     | 724   |     |    | 616    |         |          |         |          | 975   |              |          | 960               |    | 3,484  |
| 中央部 中層     | 27    |    | 2   | 15    |     |    | 14     |         |          |         |          | 5     |              |          | 7                 |    | 70     |
|            | 1,233 |    | 308 | 942   |     |    | 1,990  |         |          |         |          | 489   |              |          | 4,210             |    | 9,172  |
| 南部 中層      | 23    |    |     | 4     |     |    | 2      |         |          |         |          |       |              |          | 3                 |    | 32     |
|            | 376   |    |     | 121   |     |    | 393    |         |          |         |          |       |              |          | 1,660             |    | 2,550  |
| 西部 中層      | 51    |    | 5   |       | 1   |    | 18     |         |          |         |          | 1     |              |          | 1                 |    | 77     |
|            | 1,466 |    | 193 |       | 306 |    | 3,260  |         |          |         |          | 25    |              |          | 1,020             |    | 6,270  |
| 石炭ガラ混じり層   |       |    |     | 5     | 1   |    | 15     |         |          |         |          | 3     |              |          |                   |    | 24     |
|            |       |    |     | 60    | 102 |    | 2,866  |         |          |         |          | 107   |              |          |                   |    | 3,135  |
| 石積 1       | 5     |    |     | 1     |     |    | 21     |         |          |         |          |       |              |          |                   |    | 27     |
|            | 62    |    |     | 23    |     |    | 4,240  |         |          |         |          |       |              |          |                   |    | 4,325  |
| 石積 2       | 3     |    |     |       |     |    | 6      |         |          |         |          |       |              |          |                   |    | 9      |
|            | 13    |    |     |       |     |    | 1,680  |         |          |         |          |       |              |          |                   |    | 1,693  |
| 石積 7       | 8     |    |     | 4     |     |    | 14     |         |          |         |          | 1     |              |          |                   |    | 27     |
|            | 104   |    |     | 80    |     |    | 3,008  |         |          |         |          | 8     |              |          |                   |    | 3,200  |
| 下水溝 1      | 3     |    |     | 1     |     |    | 12     |         |          |         |          |       |              |          |                   |    | 16     |
|            | 11    |    |     | 13    |     |    | 220    |         |          |         |          |       |              |          |                   |    | 244    |
| 煉瓦組桝(便槽) 1 |       |    | 1   | 1     |     |    | 6      |         |          |         |          | 2     |              |          | 24                |    | 34     |
|            |       |    | 9   | 24    |     |    | 180    |         |          |         |          | 39    |              |          | 3,200             |    | 3,452  |
| 焼土内        | 4     |    |     | 3     |     |    | 2      |         |          |         |          | 38    | 1            |          | 6<br>カ<br>イ<br>11 |    | 65     |
|            | 72    |    |     | 39    |     |    | 410    |         |          |         |          | 645   | 188          |          | 4,620<br>タ<br>1   |    | 5,975  |
|            |       |    |     |       |     |    |        |         |          |         |          |       |              |          |                   |    | 0      |
|            |       |    |     |       |     |    |        |         |          |         |          |       |              |          |                   |    | 0      |
|            |       |    |     |       |     |    |        |         |          |         |          |       |              |          |                   |    | 0      |
|            |       |    |     |       |     |    |        |         |          |         |          |       |              |          |                   |    | 0      |
| 合計         | 181   |    | 11  | 53    | 3   | 0  | 154    | 0       | 0        | 0       | 0        | 60    | 1            | 1        | 48                |    | 523    |
|            | 4,117 |    | 560 | 3,355 | 527 | 0  | 20,499 | 0       | 0        | 0       | 0        | 2,682 | 188          | 4        | 17,375            |    | 49,307 |

試掘坑 ①





調査区全景（上方が北西を指す）



旧築地市場建物跡確認状況（南西から）



旧築地市場建物跡確認状況（南東から）



旧築地市場建物跡確認状況（西から）



調査区中央部遺構確認状況（南西から）



調査区東壁土層観察状況(南から)



調査区南壁土層観察状況(北から)



調査区中央部遺構確認状況 (南東から)



石積1-B確認状況(南東から)



石積1-C・3-B確認状況(南東から)



石積1-D確認状況(西から)



石積2確認状況(直上から)



石積2確認状況(西から)



石積 3 -A確認状況(南東から)



石積3-B・6確認状況(南東から)



石積3-B・6確認状況(東から)



石積3-B確認状況(南東から)



石積4確認状況(南西から)



石積5確認状況(北西から)



下水溝1・石積 7 確認状況(直上から)



下水溝1・石積 7・8 確認状況(北西から)



下水溝1内部状況(南壁：石積7、北壁：石積8)



下水溝1・石積7土層確認状況(南西から)



石積7断面確認状況1(南から)



下水溝1・石積8断面確認状況(南東から)



下水溝1・石積8断面確認状況(北東から)



下水溝2・煉瓦組1 枡確認状況(南東から)



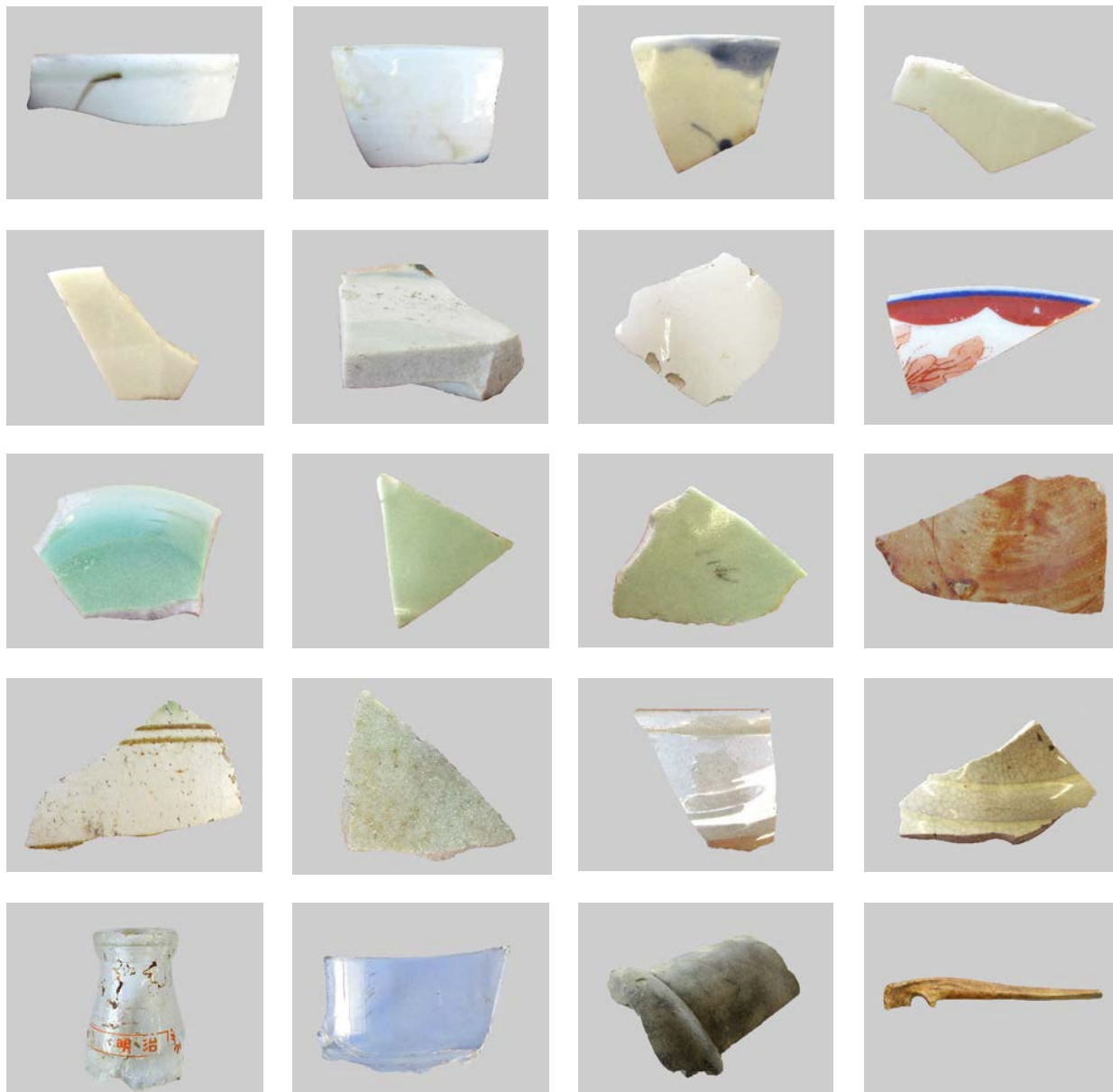
煉瓦組枡1 確認状況(南西から)



煉瓦組枡1-1確認状況(南西から)

中央部上層1

NO.5

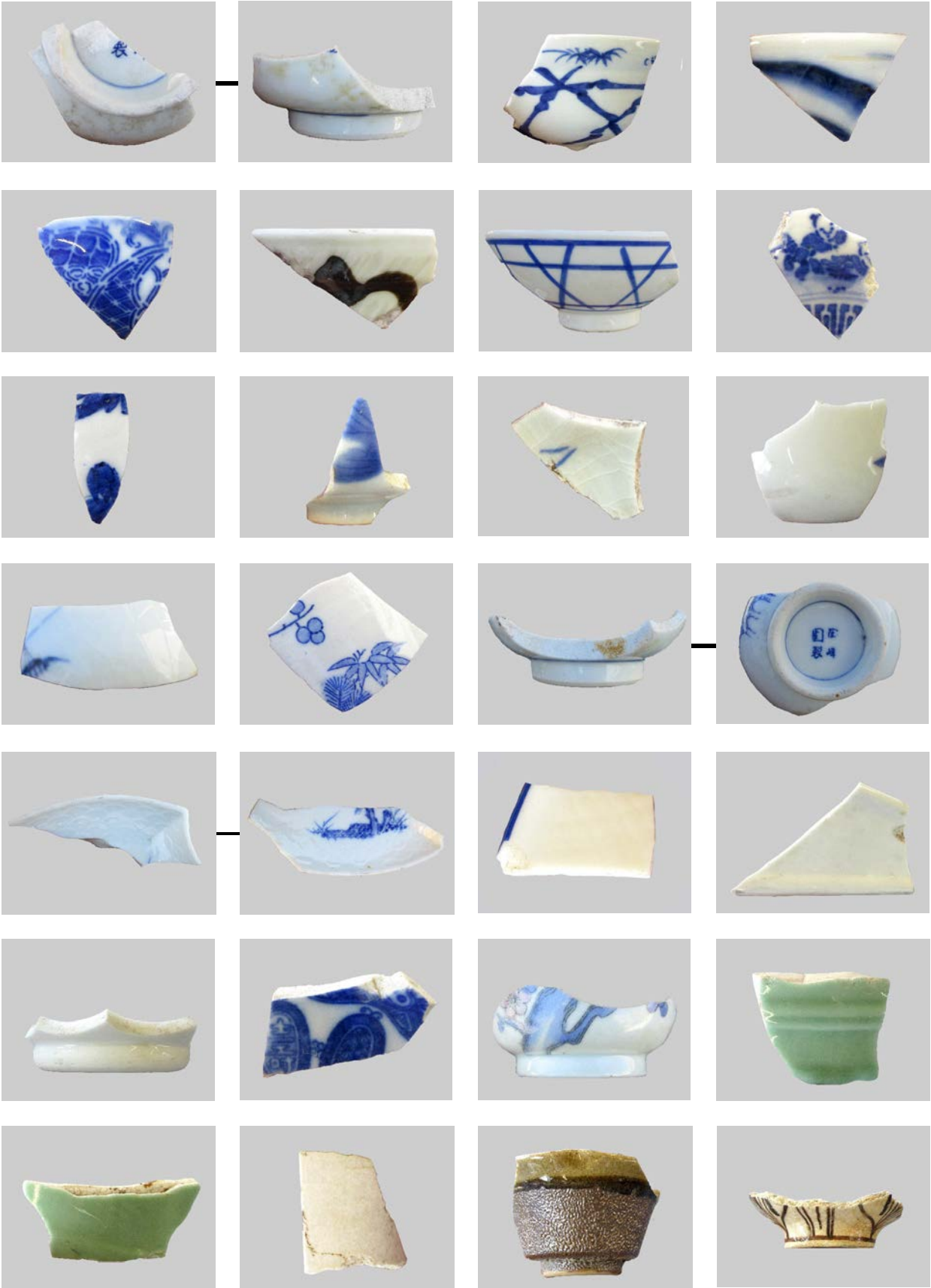


中央部中層1



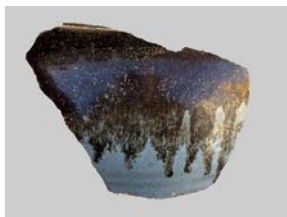
中央部中層2

NO.6

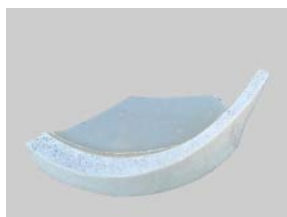
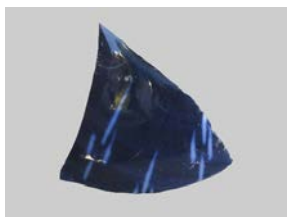
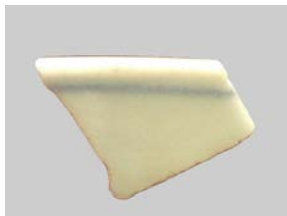
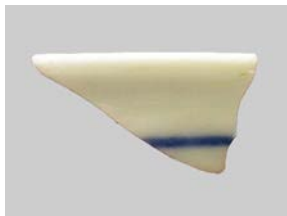
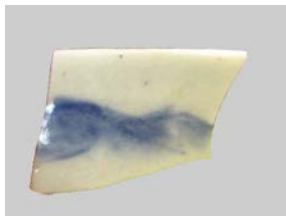


中央部中層3

NO.7



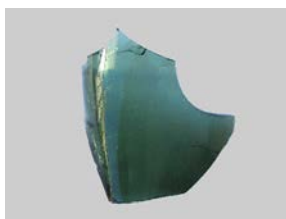
南部上層1



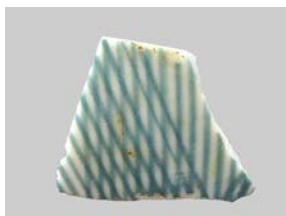
南部上層2

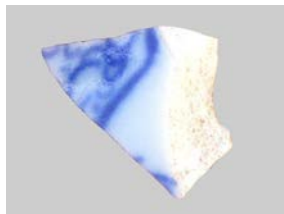
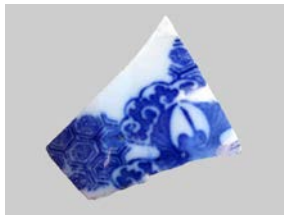
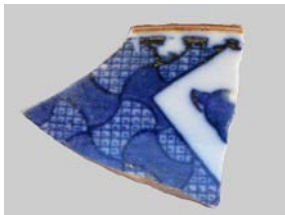


NO.8

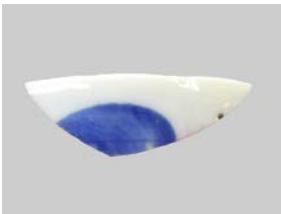


南部中層1





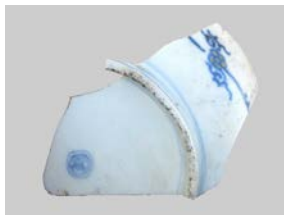
## A fragment of a white ceramic bowl, likely a fragment of a larger vessel. It features a blue landscape painting, possibly a mountain scene with trees and a small structure. The fragment is shown against a plain background.



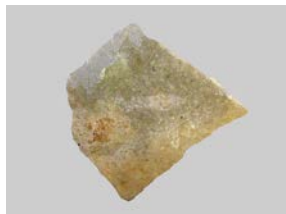
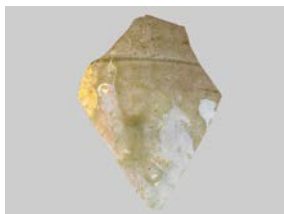


西部中層3

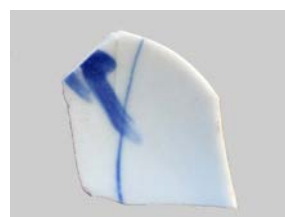
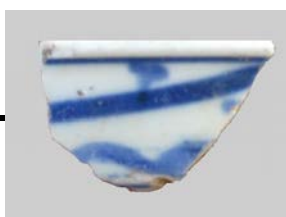
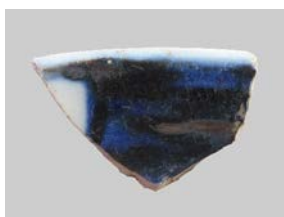
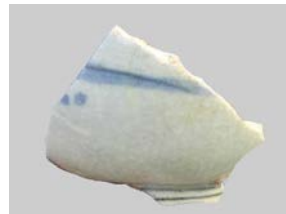
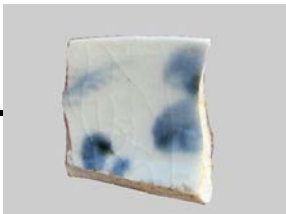
NO.11



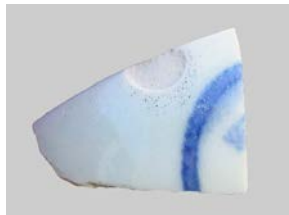
中央部スラグ混じり層



石積1

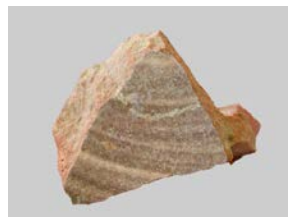
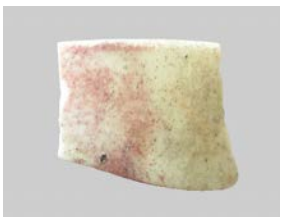
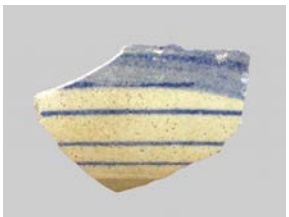
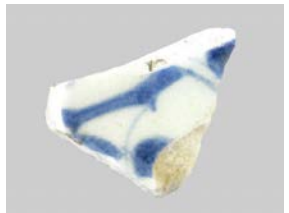


石積2

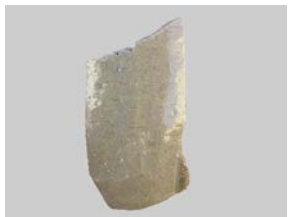
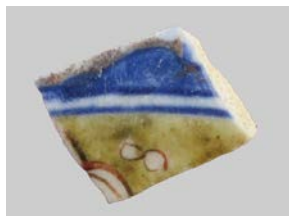
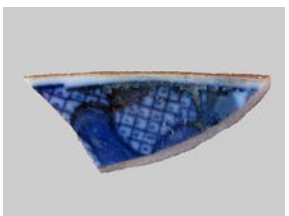
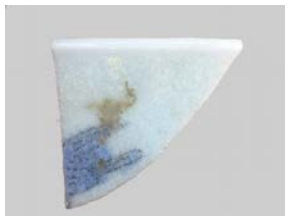


NO.12

石積7



下水溝 2



煉瓦組枅（便槽）1



